

1. 科目名(単位数)	国語科指導法(書写を含む) (2単位)	3. 科目番号	EDEL2311 SJMP2391 JCEL2412
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義 演習 グループ討議 発表 実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	<p>国語科は全教科の基礎基本であり、中心的教科である。そのため、人間形成や社会力及び創造力の基礎となる国語科の指導者として必須の知識への理解と実践力の基礎を育てるのがねらいである。そこで本講義では、学習指導要領に示された(思考力,判断力,表現力等)の内容である「A話すこと・聞くこと」領域、「B書くこと」領域、「C読むこと」領域に基づき、各学年に応じた目標、内容及び指導法についての理解と実践力を育てるようにする。</p> <p>特に、指導法に関しては単なる理解ではなく、発表や討論、模擬授業等を通して指導技術の習得を図る。また、教材や学習活動の開発創造を大切にしたいとする意欲的態度を育てる。</p>		
8. 学習目標	<p>1.小学校学習指導要領国語について概観し、目標や内容について説明できるようになる。</p> <p>2.各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになる。</p> <p>3.小学校の具体的な国語教材を基に、教材研究、指導案作成、模擬授業などを行い、小学校国語科の学習指導の実際を体験的に身に付ける。</p>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>国語科指導法は実技を中心に行う。ノート等の紙・鉛筆(B、2B)を用意して授業を受けること。</p> <p>1.毎回、授業終了前に授業内容についてのリアクションペーパーを提出する。</p> <p>2.作文(小論文)の実作を2回提出する。</p> <p>3. 期末レポート(1,000字程度)を提出する。(期末試験を実施しない。)</p> <p>【注】欠席及び公休等で受講できなかった場合、当日の資料を熟読し200字程度のコメントを提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>①長谷川祥子『はじめて学ぶ人のための国語科教育学概説』明治図書 3刷2022</p> <p>②江守賢治『漢字筆順ハンドブック 第四版』三省堂、2021</p> <p>【参考書】</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 国語編』東洋館出版、2018</p> <p>その他、必要に応じて学習シート等を提示する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1.小学校国語科の目標や内容について説明できるようになったか。</p> <p>2.各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになったか。</p> <p>3.小学校国語科の学習指導を行う上で必要な教材研究、指導案作成、授業実践等の知識・技能を体験的に身に付けることができたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>授業態度 50%</p> <p>模擬授業等 30%</p> <p>期末試験 20%</p> <p>上記のほか、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の条件である。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>国語科教育で最も大切なことは、児童生徒に社会生活で通用する言葉の力をつけることです。そのための教材研究と授業における発問課題の研究を重視します。特に小学校国語科教科書教材を取り上げて発問を考える等、実践に即した授業を行います。児童生徒にわかりやすい教え方を習得するとともに、学ぶ意欲を助長する指導法を身につけるため積極的な学修を期待します。</p>		
13. オフィスアワー	初回の授業で知らせます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	【オリエンテーション】講義の概要等を知る。国語教育及び国語科教育の問題点を理解する。	事前学習	シラバスを読んでこの科目の概要を調べる。
		事後学習	国語科教育の問題と課題を明確にする。
第2回	○国語科教育の内容を知る。(14-22頁)・学習指導要領、教科書	事前学習	小学校学習指導要領「国語編」を調べる。
		事後学習	国語科の目的・内容を理解し、問題意識をもつ。
第3回	○教材研究について調べる。(22-24頁)・教材研究の仕方	事前学習	国語科授業を難しくしている問題を考える。
		事後学習	文章の本質を読み取る教材研究方法を理解する。
第4回	○活動領域について調べる。(22-48頁)・「話す・聞く」、「書く」、「読む」	事前学習	国語科の活動領域を調べる。
		事後学習	3領域の授業を通して育成する技能を理解する。
第5回	○「書く」学習について調べる。(41-42頁)・筆順、平仮名・片仮名・漢字、書写の実技【テキスト②使用】	事前学習	「書く」学習で育成する技能について調べる。
		事後学習	平仮名・片仮名・漢字の書き分けをする。
第6回	○「読む」学習について調べる。(44-48頁)・論理的文章、文学的文章	事前学習	「読む」学習の目的を調べる。
		事後学習	論理的文章と文学的文章の活動の特徴を理解する。
第7回	○論理的文章について調べる①。(72-74頁)・音読、キーワード、文章構成	事前学習	論理的文章を読む基本事項を調べる。
		事後学習	論理的文章の構成について理解する。論理的な
第8回	○論理的文章について調べる②。(42-43頁,94-107頁)・リライト教材	事前学習	論理的文章の読み方を調べる。
		事後学習	文章の構成の重要性について理解する。
第9回	○小論文の書き方について調べる。(74-84頁)・論	事前学習	小論文(作文)の題を決め、構成を考える。

	理的文章	事後学習	小論文の作法を身につける。
第10回	○小論文を書く。・意見を述べる論理的な小論文を書く。	事前学習	自分の主張の根拠を明確にした小論文を書く。
		事後学習	スモールステップの指導法を身につける。
第11回	○「話す・聞く」学習について調べる。(38-40頁) ○スピーチを実演する。(110-120頁)	事前学習	「話す・聞く」の意義と内容を理解する。
		事後学習	スピーチを実演し、方法を習得する。
第12回	○国語科の学習指導案の構成を知り。略案を作成する。	事前学習	学習指導案(細案)の構成要素を調べる。
		事後学習	学習指導案(略案)を作成する。
第13回	○長文読解の方法について調べ、体得する。(招聘講師)	事前学習	長文読解の図読の方法を理解する。
		事後学習	文章の読解方法身につけ、活用する。
第14回	○文学的文章の読解方法を調べる。(64-70頁)・模擬授業	事前学習	文学的文章から主題を考える。
		事後学習	文書の分析から自分の考えを表現する。
第15回	○言語文化について調べる。(122-132頁) ○学校教師の腕の磨き方を考える。(134-141頁)	事前学習	言語文化について調べる。授業の腕を磨く方法を調べる。
		事後学習	言語文化の大切さを理解し。指導に生かす。授業の技量を高める意欲をもつ。